

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

べとれへむの風

発行：べとれへむの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.net>



No.131

新年度特別対談『病院とカトリック精神の“交差点”』完結編

(語り) 東京教区司祭 富田聡神父様・べとれへむの園病院 青木信彦院長
(収録日・場所) 2025年4月11日(金) ベトレヘムの園病院 中庭にて



(青木院長：以下A)

私もこの病院に来て10年以上経って沢山の方々の死に遭遇してきました。亡くなった後に家族がどう思っているのか、こ

こはすごく大事だと思っています。私たちが提供している医療の背景にイエス・キリストの精神があると理解してもらえると家族も安心されるのではないかと思います。礎(いしずえ)になると思います。

(富田神父：以下T) ただ最近は無宗教の方々の層が増えています。この病院で毎年行っている「追悼祈りの集い」も来られる方々はほとんどキリスト教の方ではないですよ。キリスト教を知らない方々にキリスト教の話をしてどこまで救いになるのか、私もわからないのです。

(A) 私はむしろそういう機会を経験されてキリスト教を知るところも多いのではないかと思います。

(T) もちろんそこを目指すのですけれどもね。ただ遺族の方々の心に寄り添う、亡くなった方々の心に寄り添うということは私の能力を超えている世界なのです。私は自分の信じていることに基づいてイエス様のメッセージを語ります。その後は神様がはたらかれると思っています。ただ自分自身ではどうしてこういう理屈になるのか、その理屈が立たない中でやっているというのが正直なところですよ。

(A) 私自身クリスチャンではないのですが、家がプロテスタントだったので昔からそういうものを叩き込まれた中で生活していました。だから私自身キリスト的なものに違和感はないのです。

小さい時からそういうものに触れるということは随分違うんだと感じます。

(T) 神様はいると信じるのか、いないと信じるのか、どちらに傾くにしてもそれは宗教だと思います。

(A) 患者さんやご家族が当院に入院されている間にキリス

ト的なものに触れて最期亡くなるという経験は大きいのかなと感じます。

(T) 人生始まりがあって終わりがあるので、終わりをどう迎えるのかというのはとても大切だと思います。

(A) 死ぬということについて亡くなる方が「死」というものを捉えて準備される機会をこれからも作れたらと思います。

(T) そうですね。ゆっくり亡くなられていく方は「死」についてしっかり考えられますよね。だから機会を設けて自分の中で「死」が受容されていくということはとても大切ですね。そうでなければご遺族を含めて何か思い残すということになってしまいますね。

(A) 神父様、今日は貴重なお話をどうもありがとうございました。

神父様と会話しての感想

いつも公式の場面でのみお話を聞いていたが、会話の中では神父様の人間的な場面を垣間見ることが出来て、カトリックがより身近に感じた。

多くの日本人は無宗教であり、死と無関係な日常では信仰心が芽生えにくいとのご意見に納得、あらためてご遺族の気持ちを大切にしていきたいと思う会話でした。



健康公開講座

『人生の軟着陸(なんちゃくりく)～soft landing～』開催報告

病院長 青木 信彦

先月(2025年6月)のベトレヘム公開講座は、不肖
あおきのプレゼンでした。

主題は「人生の軟着陸」、副題は(少し長いのですが)
数え切れない“死”と向かい合ってきた医師たちの
確信:

- ① 苦しむことのない人生の終わり方
- ② 皆から「良かったね」と言ってもらえる人生の
終わり方

公開講座の当日、ベトレヘムの会議室は参加者であ
ふれていました。

「人生の終わり方」について誰もが関心を持っている
ことがうかがえました。

プレゼンでは

- ① 最後まで自分らしく生きて、そして、死んでいき
たい!
- ② 穏やかな最後を迎えるにはどうしたらよいのか?
という質問へ正面から向き合ってお答えしました。

その結論は明快です⇒“老衰”が私たちにとって、
理想的な人生の終わり方なのです。

“老衰”とは、老いとともに身体が食べ物を受け付け
なくなっていく状態です。

そのメカニズムは、「小腸のじゅう毛」が萎縮して、
栄養素を吸収できなくなることなのです。



小腸は長さ6m 絨毛を拡げると「テ
ニスコート」の1面分となります

小腸は長さ6メートル、
そのじゅう毛を広げると
テニスコート1面分とな
る、巨大な臓器です。
ここで食べたものが吸収
されて全身へ送り込まれ
るのです。

では、人は老衰で亡くなるとき苦しくはないのか
⇒老衰の最後を看取ってきた医師たちの確信は

- ① 自然の経過に任せれば、苦痛のない穏やかな最期
を迎えられます。
- ② 老衰で低栄養・脱水状態になると自然に鎮痛作用
が働いて、意識レベルが下がり、心地よい眠りに
陥るのです。
- ③ 老衰になると、脳が痛みや死への恐怖から身を
守ってくれます。

人には生きる力だけでなく、死ぬ力もあるのです。
(人にはもともと穏やかに亡くなる機能が備わって
います)

この業界をリードするケリ・ト
マス先生の次の言葉をしっかりと
理解しましょう。

『私たちは死を拒否し、永遠に生き
続けられるかのように思いがちです』

死は負けではない
受け入れるものである
安らかに死ねないことが負けなのです
人はだれも “老い、衰え、天に還る” のです
(*老衰天還 ロウスイテンカン と覚えましょう)



ケリ・トマス先生

ところで、皆さんのご家庭では「人生会議(この業界
ではACPといいます)」をしたことがありますか?

- ① 自分の望む最期を迎えるには死をタブー視せず、
ご家族みなできちんと考える文化が必要です
- ② 終末期医療について本人と家族が話し合いをし
て、明確に自分の意思を決めて家族は尊重するよ
うにしましょう
- ③ 人生会議のキーワードは「延命治療」となります

最後になりますが、今回のベト風をお読みになっ
ている方々への提案です。

厚労省の統計によりますと日本人の寿命は急速に長
くなります。平均寿命が100歳という時代も近づい
てきました。

65歳の定年で、そのあとは年金で余生を送るには
あまりにも長すぎる時代になります。

そこで高齢期の3区分の提案です。

- ① 65歳～75歳: できるだけ働こう
- ② 75歳～85歳: できるだけ自立した生活を送ろう
- ③ 85歳～: 穏やかな晩年を過ごそう
(ここではじめて、生きていることが仕事になります)。
みなさん、いかがでしょうか「65歳～75歳: でき
るだけ働こう」⇒ ここがポイントですよ!
～結果として日本全体(税金)にとっても、個人(給
料)にとっても良いことづくめ～
しかし、こうなりますと今の生活が忙しくなりすぎ
て、「人生の軟着陸」について考える余裕がなくなり
そうですね。(泣/笑)



病棟の日常 ～ある看護師さん編～



8:30 朝：出勤～申し送り

午前：身体ケア ～バイタルチェック・個別処置



一人ひとりの患者さんに関わる中で意識することは？どんなことを考えていますか？

穏やかな時間の邪魔をしないように、穏やかな態度、声掛けを心掛けています

日々のケアで「この人は今日はちょっと違うな」と気付くのはどんな時ですか？

表情・顔色・話せる人なら話している内容
経験に基づく勘で気付くことも多々あります



11:00 お昼：栄養、内服管理

～ひとりひとりの状態にあった方法で届けます
食事介助、自力でお食事が難しい方のお手伝いをします

経管栄養、点滴など、チューブを使ってお体に栄養や薬を安全に届けます



食事介助の時に大切にしていることは？表情や反応をどう見えていますか？

ちゃんと飲み込めているか、ごっくんの声掛け早すぎず、遅すぎないペースで、苦痛表情がないか気を付けて見えています



12:00 休憩時間

午後：会議・処置・ご家族対応・委員会等



カンファレンスで自分が「この視点、大事にしている」ことは？

患者さんがどうしたいか？
なるべく主観は出さず、ニュートラルな視点を心掛けています

ご家族と会話するとき、伝えたいことなどは？

普段の様子をお伝えしたり、患者さんと接して自分が感じた嬉しいことなどを伝えている
ご家族が何を気にしているか読み取る様に意識している



16:30 夕方：記録・申し送り・振り返り



出勤してまず意識することは？

通常業務の他にやることはあるかな？
今日、委員会か何かあったかな？



一日の初めに心の中で

自分に声掛けるようなことってありますか？

今日も安全に！

ナースのスイッチが入る瞬間はいつ？

患者さんに苦痛がある時、
何とかしてあげたいと思って
スイッチが入る

患者さんの熱をはかる為、
体温計を手に取った時(朝
一番のラウンドで)



ランチ(食堂・お弁当についてお気に入りは何？

水曜日に月1回位しか出ないのですが、
「パンプリン」が好きです



同僚と交わす会話で気持ちが軽くなる瞬間ってありますか？どんな時ですか？

「ありがとう」「お疲れ様」といった声掛けをして
もらった時

仕事の話で、同じようなポイントで、「しんどいな」と思っているのが分かった時

今日一日で「自分の看護、伝わったな」と思える場面はありますか？どんな時？

患者さんが穏やかな様子の
まま1日を終わられた時



一日の中で嬉しい事、楽しい事がありますか？

患者さんと話したり、歌ったりしている時
自分のアセスメントが患者さんに
当てはまっていた時



今後もこの現場で続けていきたいですか？その理由は？

頑張れる限りは続けていきたい
と思っています

急性期病院で働いていた時、苦しい思いをしながら亡くなっていった人達を見て、『患者さんに穏やかな生活を提供できる環境で頑張りたい』と強く思ったからです



ホームページ
看護部QR

ひふの話

その
83

市川 雅子(皮膚科医師)

ナッツアレルギーが増えています。

近年、食物アレルギーの原因となる食べ物のなかでナッツが占める割合が増えてきています。令和6年度の即時型食物アレルギーの原因物質の調査結果では、1位：鶏卵、2位：クルミ、3位：牛乳、4位：小麦、5位：ピーナッツ(落花生)、となっています。ナッツ類(木の実類)をまとめると、1位の鶏卵に匹敵するくらい多くなります(ちなみにピーナッツは土の中にできる豆なので木の実ではありません)。今年3月からはクルミのアレルギー表示が完全義務化されました。日本におけるクルミアレルギー急増の一因と考えられているのはクルミ消費量の増加です。確かにクルミを使ったお菓子などが昔に比べて格段に増えています。日本のある研究報告では、クルミアレルギーの子供がいる家庭では、その子供が寝るベッドの埃の中のクルミアレルギーの量が多いこと、クルミの消費量が多い家庭での埃の中にクルミアレルギーが多いことがわかりました。

ここで、食物アレルギーの獲得経路について簡単にまとめます。それは主に2つ、①経口摂取によって腸管で感作されること、②湿疹など



により皮膚のバリア機能が低下したため経皮感作されること、が考えられています。そして適切な時期に適切な量で経口摂取することでアレルギー反応を抑制する(経口免疫寛容)ということもわかってきました。前述の研究結果から、おそらく②の経路、クルミのアレルゲン(アレルギーを引き起こす物質)が生活環境の中で多くなり、更に、そこで生活する人の皮膚に湿疹など皮膚のバリア機能が低下する状態があると感作されやすいためアレルギーを獲得してしまうのではないかと考えられます。イギリスでの調査報告で、赤ちゃんの皮膚にピーナッツオイルを含む製品を使った場合、含まない保湿剤を使った時よりも8倍もピーナッツアレルギーの発症が多かったという結果がでました。天然成分由来のものだから安心、と思っていたら重篤なアレルギーを発症してしまったのです。そして白色ワセリンでの保湿にしたところ、アレルギーの発症は減ったのです。手荒れや口の周りの皮膚が荒れている人は特に注意しましょう。なお、クルミとペカンナッツはクルミ科に属し交差反応性があり、クルミアレルギーの人はペカンナッツでもアレルギーを起こす危険が高くなります。また近年増えているカシューナッツアレルギーでは同じウルシ科のピスタチオでもアレルギーを起こす危険が高くなります。今、ピスタチオを使ったお菓子が流行していますが、今後、ピスタチオアレルギーが急増するかもしれません。それ以外のナッツ、アーモンドやカシューナッツ、マカダミアナッツなどでもアレルギーは起こります。ただ、ナッツ類は栄養豊富な食べ物ですので、アレルギーがなければ少量食べる分には問題ありません。

令和6年度決算報告

事業収支計算書 (単位：千円)

収益の部		費用の部	
医療事業収益	961,056	人件費	701,896
		事業費・事務費ほか	202,944
経常経費寄付金収益	1,197	減価償却費	50,581
サービス活動外収益	15,438	サービス活動外費用	15,916
特別収益	1,042	特別損失	29,015
〈収益合計〉	978,733	〈費用合計〉	1,000,352
		〈当期損益〉	-21,619

資金収支計算書 (単位：千円)

収益の部		費用の部	
医療事業収入	962,302	人件費支出	691,995
その他収入	15,389	事業費・事業費支出ほか	218,842
施設整備等収入	757	施設整備等支出	48,741
その他の活動収入	7,566	その他の活動支出	47,962
〈収入合計〉	986,015	〈支出合計〉	1,007,541
		〈当期収支差額〉	-21,526

【コメント】

- ①収益の要となる病床稼働率は年間を通じて高いレベルを維持出来ました。多職種の協力のもと達成した成果です。
- ②厳しい時代だからこそ各部門において人員の充実に力を入れました。また物価高の中でも必要な投資は実行しました。
- ③残念ながら昨年度の黒字から一転、赤字となりました。新年度は新加算の取得による単価改善で収益の回復が進んでいます。

ベトレヘムの園病院を応援して下さい皆さまへ

【ご寄付について】

ベトレヘムの園病院は令和5年10月に創立90周年を迎えました。これまでそしてこれからもこの地域で必要とされる医療を提供する為に、医療機器などの設備や療養環境の整備が欠かせません。当院を応援して下さいの皆様のご支援を賜りましたら幸いに存じます。

院長 青木 信彦



ご寄付に関する案内はこちらのQRコードからご確認ください。

編集後記

時間について考えています。子どものころ1日、1週間は長く、小学校の6年間は途方もなく長かったように思います。しかし、ここ最近は、気づくと1年があっという間に過ぎていきます。調べたところ、これはジャンーの法則によるそうです。1年の長さが人生全体に対する比率が小さくなるのが要因だそうです。5歳にとっての1年は人生の1/5ですが、50歳にとっての1年は1/50、それは短く感じますね。5歳と50歳、体感的には10倍のスピードで生きているということでしょうか…。どんどん上がるスピードに流されないように毎日を丁寧に過ごしていきたいものです。(K・M)

